

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1472900776
法人名	株式会社ツクイ
事業所名	ツクイ荻野サンフラワー
訪問調査日	平成24年1月13日
評価確定日	平成24年3月14日
評価機関名	株式会社R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472900776	事業の開始年月日	平成17年12月1日
		指定年月日	平成23年12月1日
法人名	株式会社 ツクイ		
事業所名	ツクイ荻野サンフラワー		
所在地	(243-0203) 神奈川県厚木市下荻野1110-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成23年12月10日	評価結果 市町村受理日	平成24年3月13日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

各委員会活動(環境・身体拘束・地域交流・事故)を行う。
食事のメニューは各職員が作成。季節の物や嗜好品、職員の得意分野などバラエティに富んだメニューとなっている。
開設当初からのベテラン職員と新人職員が混ざり合って良い効果をもたらしていると思う。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成24年1月13日	評価機関 評価決定日	平成24年3月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①経営は福祉で有名なツクイである。ツクイは福祉の総合会社であり、訪問入浴介護から福祉に取り組み、訪問介護、居宅介護支援、グループホーム、デイサービス、有料老人ホーム等を展開、また、関連機関のひまわり福祉会では特養、老健を運営し、ネットワークは北は北海道から南は沖縄県までに展開している。グループホームは、神奈川で横須賀(2箇所)、川崎、横浜、三浦、厚木、平塚、小田原、湯河原の9箇所を展開している。立地としては、小田急線厚木駅からバスで20分、徒歩3分の平地に開発された比較的新しい住宅地であり、自然もまだ残っている良好な環境の中にある。ここでは、毎年1月に方針を出し、年間でその実現を図っている。昨年度は「ステップアップ」であり、今年度は「利用者の一日一日を大切にしたい」である。ツクイでは方針管理を実施しており、個人別に方針に沿った目標を決め、面接を実施している。ホームの基本理念の見直しを提案し、皆で検討して6項目を3項目に纏めて明確にし、毎朝、社訓と理念を唱和して身につけるようにしている。

②地域との関係については自治会への加入の他、内部に地域交流委員会を設置し、委員を中心として地域の行事へ積極的に参加し、回覧板を回してもらい、チラシを配って頂くなど良い関係が出来ている。夏祭りのお神輿は近くの「スーパーつるかめ」に来るので見に出掛けている。老人会主催の公民館での展示会を見に行き、そこで知り合いとの再会などもあり盛り上がったケースがあった。ツクイの夏祭りではヨーヨー釣りなどを出し物にし、近所の子ども達に来て頂いた。ツクイは全社を挙げて地域のお掃除を毎週金曜日に実施しており、職員はツクイのジャンパーを着て地域に貢献している。

③ケアの方針としては個人ケアに徹している。今年度の方針も「利用者の一日一日を大切にしたい」であり、入所に際しては独自のアセスメント表、途中チェックに於ける再アセスメント表、モニタリングシートを併用し、ICFの考え方を一部を活用して展開している。居室担当者を置き、担当の利用者に関する気付きをメモして管理者に提出する。管理者はこれらを纏めて原案を作ってカンファレンスを実施している。医療連携については、往診医(荻野クリニック)に24時間対応して頂いており、医療面での体制は整っている。但し、現状は看護師がおらず(准看護師はいる)、医療連携体制はとっていない。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ツクイ荻野サンフラワー
ユニット名	コアラ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申し送りで唱和している。	昨年度会議で全社の基本理念に沿って作成した荻野サンフラワーの理念を、シフト見直しの時に提案し、6項目あった理念を3項目に纏め、簡潔、徹底を図った。理念は「個人の尊重」、「安心出来る家庭的雰囲気」、「地域とのかかわりあい」の3項目である。この理念を社訓と併せて唱和し、理解を深めている。本社も職員の教育には熱心であり、研修費用は会社で支給され、スキルアップを推進している。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流推進委員会を中心に、公民館の行事へ参加。夏祭りのお知らせを地域に配布などをして、少しずつ交流を行っている。運営推進会議でも意見を頂いている。	自治会へは賛助会員として加入し、夏祭りのお知らせを地域に配布してもらったりしている。地域交流推進委員会を中心に、自治会の行事（公民館の行事、敬老会等）への参加を委員中心に検討し、参加者、付き添い職員を決めて自治会へ知らせている。公民館の展示会で交流のあった人との再会があって盛り上がった。ツクイは全社を挙げて地域のお掃除を毎週金曜日に実施しており、職員はツクイのジャンパーを着て地域に貢献している。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	特に活動はしていませんが、近隣の方からの相談（施設見学を兼ね）も受けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	その時々で議題を考えより良い方向を目指し話し合いをしています。	運営推進会議のメンバーは自治会長、老人会長、民生委員3名、地域包括支援センターの方、厚木市介護保険課の方、ご家族、本人それにツクイ関係者で年6回の実施が出来た。その時々で議題を考えより良い方向を目指し話し合いをしている。ホームの様子をムービーにまとめ活動を見て頂いたりしている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今年度厚木市主催「事業所説明会」に参加しました。都度相談事や入退所に関する相談など行っています。	厚木市介護保険課には生活保護を含めた相談ごと等を時々している。また、厚木市は福祉行政に理解が深く、介護職員確保に向けて合同の「事業所説明会」を毎年、市の費用で開催してくれており、今年度はこの「事業所説明会」に参加した。地域包括支援センターとは、研修の案内を頂いたり、イベントなどの企画もご案内頂き参加している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間、靴に鈴をつけるなど拘束に当たる事を行っている為。しない方向でのカンファレンスを都度行うようにしている。また、身体拘束委員会を中心に毎年、研修参加を行い。共育をおこなっています。	身体拘束廃止委員会を作り、委員会を中心に身体拘束をしないためのカンファレンスを全員参加で開催し、現在は身体拘束をしないケアを実践している。毎年研修にも参加し、身体拘束ゼロのケアを共有している。鍵については、玄関、2Fの入口はオープンであるが、1Fには出る方がいるので、現在はドアに鍵をかけている。言葉については、きつくなりがちの職員には面談して話し合い、自分で理解出来るようにしている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉がきつくなったり、という事が完全に無いとは言えない面があり、皆なで注意し合える様に努力しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加。研修報告に留まっているため。これから、さらに勉強が必要。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や日常の訪問でも意見を聞くようにしています。	居室担当を決め、利用者の意見を重点的に聞き（個室などでは本音が聞けることがある）、カンファレンスも居室担当を中心として意見を出し合い、居室担当以外も全利用者の思いを聞くように努めている。ご家族については、運営推進会議や日常の訪問時でも意見を聞くようにしている。居室担当、1F、2Fのローテーションは年1回位は行なうようにしてる。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な会議と毎日の申し送りで報告、提案を行っています。	職員の意見は会議で定期的に出し合い、申し送り等でも報告提案をしている。個人的な問題については、相談出来るメンバー、管理者の他、地域の統括も相談にのれる体制にある。目標設定に向けてアンケートを実施し、それに沿った面接を実施し、反省を基に今年度の目標を決めるようにしている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境の改善には努めている。年一回の面談で意見を個別に聞いている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外研修の機会を取っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者は年間で交流研修を行っているが、職員までには至っていない。報告のみ		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	全職員で状況把握が出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族の様な雰囲気の中でそれぞれの方に合わせた生活をして頂いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族訪問の折にお話しをしたり、お電話で連絡、報告、相談を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族以外の訪問は殆どありません。	認知症の進行具合を加味し、ご家族以外の訪問は少なくなってきた状況である。訪問介護を受けていた頃のケアマネさんが年1回程度訪問してくれるケースもある。認知症の進行があるので、ここをその方の自宅として近所の方との関係を大切にしていきたい。入居者が土地の方であったり、民生委員が認識している等のつながりで、地域との関係維持、広がりの方としていきたい。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの方の性格を考えながら孤立しない努力をしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在、関係の続いている方はいません。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスでの検討を行っています。	居室担当者を置き、担当のご利用者に関する気付きをメモして管理者に提出している。管理者はこれらを纏めて原案を作り、カンファレンスで話し合いを行い、解決の方向を模索している。生活歴でオール読み物などに俳句を投稿していた利用者がいて、その俳句を絵馬に書いている。本人の発した言葉は「 」付きで介護記録に落とし込んでいる。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴を大切にしながら、現在の生活が快適なものになる様に話し合いをしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りで状況確認をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングや日々の記録（バイタル表）で検討。計画書にかんしては、ご家族の「意見を反映しています。	ケアの方針としては個人ケアに徹している。入所に際しては独自のアセスメント表、途中チェックに於ける再アセスメント表、日々の記録（バイタル表）、モニタリングシート（ひもときシート）を併用し、I C Fの考え方をベースに、センター方式の一部を活用して介護計画を作成している。計画変更時にはご家族の意見を反映している。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録、経過記録への記入と申し送りを活かし、役立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	GH内でのサービスに留まっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握は十分に出来ていませんが、ご利用者が楽しめる支援は行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医で対応。	提携の荻野クリニックが24時間体制でバックアップしてくれており、90%程度が往診を受けている。ホーム内に掲示板があり、基礎体温、身だしなみ（手、爪、服装など）、体調を記入し、全員で確認しながらケアに活用している。現状、看護師がいないので医療連携は取っていない。（准看護師はいる）	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	無し		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院に向けての相談、病院との連携を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	往診医の助言を頂きながら、ご家族との随時の相談で支援を行っています。	医療連携については、現在は看護師が不在で医療連携体制はとれていないが、往診医が24時間対応して頂いており、医療面での体制は整っている。看護師についてはツクイのグループ内若しくは採用を検討しており追々、医療連携体制を取れるよう検討している。重度化が進んだ場合には家族、医師と3者で相談して方向を決めることにしている。荻野クリニックは看取り対応は可能である。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修に取りいれたり、カンファレンスで疑問があれば話し合うようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行っています。	消防署の協力を得て、定期的に避難訓練を実施し確認している。消防署の職員が近くにいるので、緊急時には応援して頂ける内諾を受けている。東日本大震災の時、利用者は落ち着いていた。備蓄は3日分程度持っていたは、見直しが必要と感じ、環境整備委員会が担当で進めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉掛けに関しては努力しています。	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保に努め、特に、言葉掛けに関しては尊厳を傷つけることの無いよう努めてしている。トイレ介助については、特に注意している。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り希望を聞く様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は特に決めず、その時のご利用者の希望に合わせています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	選べない方へのおしゃれや、お出掛け時に気を付ける事など行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事をして頂いています。	基本的には独自の仕入れで、メニューをご利用者の希望に沿って決め、下ごしらえ、片付けなど出来る方には手伝って頂き実施している。買い物に行き、地域のお店に配達をお願いし、肉、魚は職員が買いに行き、利用者を連れてつるかめ（スーパー）へ買い物に行っている。席替えも適宜行うようにしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々のチェック表での対応と、お粥、刻みなどそれぞれに合わせた対応をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食の口腔ケアをそれぞれの状態に応じて支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれの方の性格を考えながら孤立しない努力をしています。パターンに合わせた対応をしています。	トイレ誘導の方、オムツ対応の方等、それぞれのパターンに合わせたケアをしている。出来るだけトイレでさせてあげたいと考えている。オムツについての切り替え時期にはカンファレンスを開き、切り替えの時期、一部使用など話し合うようにしている。介護により布パンに戻ったケースもある。オムツは費用がかさむので、買う時は必ず、ご家族に相談するようにしている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘薬の調整、オリゴ糖、牛乳などで対応。食事でも食物繊維のものをとってもらおう努力をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決めています、ご本人の意向に合わせて対応しています。	入浴の曜日や時間帯は決めているが、その方の状況や気持ち等を優先するように努めている。入浴を拒否される場合については、無理強いをしないようにしている。もっと入りたい希望の方もいるが、他の利用者、介護職員体制を見ながら対応している。夏週3回、冬週2回を基準にしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠の為の日中の様子を把握し夜勤への申し送りを行っています。遅い時間の刺激物や穏やかに過ごせる努力をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜勤者がセットし、他の職員が確認する体制。個人ファイルに処方箋を綴じいつでも分かる様にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝の新聞とり、テーブル拭きや食器拭き、洗濯たたみなど、出来る事をして頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別の外出支援はありませんが、年間行事やお散歩などで対応しています。	年間行事にはなるべく全員参加出来るように支援している。重度化等で十分な外出支援は行なえないが、駐車場のベンチでの日向ぼっこ、洗濯物干し等により外気に触れることができるように支援している。お買い物に行きたい人、どうしても外に出たい人には対応している。障害者の職員がプラスで配属されたので、ドライブには職員がフォローしながら手伝ってもらっている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持はありません。（昨年度まで。今年度はあります。）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限はしていないが、現状は掛ける方はいません。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に気配りを行っています。	共用空間は、季節の飾り付けを中心に考え、X'masツリー、お月見のすすき等を飾って楽しめるように工夫している。また、職員の作った刺繍、昔作った作品や写真などを掲示している。利用者の名前は書かない、貼らないを徹底している。テレビも利用者が言えば点ける、チャンネルも利用者によって決めている。お便りはご家族が楽しみにしている。リビングには季節に合わせた作品を張っている。行事委員会がイベントを企画し（企画書提出）、飾りつけも考えている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時々で居場所を考えながら過ごして頂いています。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	行っています。	本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを持ち込んで頂き、本人が居心地よく過ごせるように配慮している。また、職員に手伝ってもらって、自分の居室に目印の飾りつけをつけたり、部屋に自分の作品を飾る等、工夫をしている。ミニ大掃除を月2回実施している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの建物ですが、危険箇所があれば、工夫を行っています。	/	

事業所名	ツクイ荻野サンフラワー
ユニット名	鮎

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員誰でも、頭に浮かぶように申し送りで唱和している。			
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流推進委員会を中心に、公民館の行事へ参加。敬老会へ参加。夏祭りのお知らせを地域に配布などして 少しずつ交流を行っています。運営推進会議でも活動報告を行っています。			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	特に活動はしていませんが、近隣の方からの相談（施設見学を兼ね）も受けています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	その時々で議題を考えより良い方向を目指し話し合いを」しています。また、毎回積極的な意見を頂いています。			
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	今年度厚木市主催「事業所説明会」に参加しました。都度相談事や入退所に関する相談など行っています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会で毎年研修に参加し、共有を行っています。またカンファレンスや事故検討委員会でも議題に上げています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉がきつくなったり、無視してしまったりという事が完全に無いかというと言えない面もあります。年1～2回の面談や研修時に注意する様にしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	話しとしては知っていても理解までは出来ていないので学ぶ機会を多く持ちたい。研修へ参加予定です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や日常の訪問でも意見を聞くようにしています。また、ご家族来所時にお話しを聞く様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を定期的に行い。報告提案、意見の抽出に努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境の改善には努めている。年一回の面談で意見を個別に聞いている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外研修の機会を取っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者は年間で交流研修を行っているが、職員までには至っていない。報告のみ		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	全員がご利用者の状況把握が出来るようにしています。また、新しい方が早く馴染めるように声掛けを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初日の様子を報告する。また、訪問時や月一回の「おたより」でも報告をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居面接時の聞き取りや計画見直しなどで対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族の様な雰囲気の中かで、それぞれの方に合わせた生活や出来る事をして頂いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の訪問の折りにお話をしたり、お電話での連絡、報告、相談を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新しい入居者のご近所様の訪問などたまにあります。「またいらして下さい」とお声を掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの方の性格等を考えながら孤立しない努力をしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも、ご相談下さいと声を掛けています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスで話し合いを行い解決の方向を模索しています。また、出来る限りご本人の希望に添うように努力しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴をなるべく崩さないように努力しながら現在の生活が快適なものになるように話し合いをしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りで状況確認を行っています。また、居室担当者がその方の一日の過ごし方の把握を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングや日々の記録(バイタル表)チェックで検討。計画変更時にはご家族の意見を反映しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の確認と経過記録、申し送りを活かし役立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	GH内で出来る限りのサービスに留まっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物や美容室などその方に合わせた対応を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医で対応している方。ご家族と通院されている方などご希望に合わせています。お薬に関してはお預かりで管理しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携無し		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の話し合いや退院に向けての相談など連携を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期、重度化に関しては訪問医に助言を貰いながら、ご家族と訪問時に話し合いをしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年一回の研修にとカンファレンスでの注意など都度行うようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	近隣の応援がある予定です。定期的な避難訓練で確認しています。震災後は直ぐに地震訓練を行いました。また、全社的に緊急時の応援体制や緊急連絡網を整備しました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉掛けに関しては努力しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り希望を聞くようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴に関しては曜日を決めていますが、拒否などその時の状況に応じて行っています。また、ご利用者中心を心がけ実践出来る様に努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の身だしなみや服を選べない方のおしゃれなど気を使っています。また外出される方には更に気を使いおしゃれに努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ、片付けなど出来る事をして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量など表にし日々チェックを行っています。刻みや量、ゼリー食などの調整もしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食の口腔ケアをそれぞれの状態に応じて支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導の方オムツ対応の方などそれぞれのパターンに合わせたケアをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘薬の調整(主治医と相談) やオリゴ糖牛乳などで対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日や時間帯は決めています、その方の状況や気持ちを優先するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の安眠のため、日中の様子を把握し夜勤者への申し送りに活かしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜勤者が薬のセットをする事で把握出来ていると思います。またご利用者台帳にも処方箋を綴じいつでも分かるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事は限られますが、カラオケや別フロアとの交流。作品作りや出来る事の支援を行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人で出かけるかたの支援を行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自身でされる方の支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話、手紙などご家族と相談しながらご本人の希望を取り入れています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に気配りをしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その時々で居場所を考えながら過ごして頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	行っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物自体バリアフリーになっていますが、気の付く所で危険のある所は工夫しています。また、月一回の点検や日々の気配りをするように伝えています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

ツクイ荻野サンフラワー

作成日

2011年12月13日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	7	言葉のきつい職員に対する指導とフォローを行う	認知症の理解と虐待防止	本人の気づきが無い場合が多い為。周りの職員がお手本を示しフォローする。	1年
2	12	働き易さの改善が無いという職員が数名いる為少しでも改善に向けた取組みをしたい	誰もが働き易い職場を目指す。	面談やアンケートを行い問題の抽出をする	1年
3	14	同業者との交流	同業者との交流を行う	交流を通して自分たちの業務を振り返る	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。